

インフォシスと SMART Enterprise が Machine to Machine Communication（機械間通信）および Internet of Everything（すべてをつなぐインターネット）分野のイノベーション開発で連携へ

企業の聞く、応答、予測をより良くする相互接続型インテリジェント・ソリューション

バンガロール/マニラ(2014年7月3日): インフォシスと SMART Enterprise 社(フィリピン大手ワイヤレス通信サービスプロバイダーである SMART Communications の法人向けサービス部門)は、Machine to Machine Communication(M2M: 機械間通信)および Internet of Everything(すべてをつなぐインターネット)分野における新しい業種別ソリューションの開発に関する覚書に署名したことを発表しました。

ソリューションは、企業が機械が生成するデータに基づき聞く、応答、予測できるようにすることを目指して開発されます。インフォシスと SMART Enterprise 社は、それぞれが持つテクノロジーおよびインテリジェント・コミュニケーションに関する実証済みの能力を活用してコネクテッド・ヘルスケアをはじめ小売、ホームセキュリティ、コネクテッド・カーなどの領域に各業種専用ソリューションを設計します。

インフォシスと SMART Enterprise が目指すこと

- グローバル企業がビッグデータやクラウド、モバイル、ソーシャル・メディアなどのテクノロジーを取り入れて機械から集めたデータに基づいてインサイトを導き出し、新たな成長への道を切り拓けるようにする。
- M2M および Internet of Everything 分野におけるイノベーションの開発および新しい統合ソリューションの共同創造を促進するコラボレーション・フォーラムとして、フィリピンの SMART Enterprise 社内にセンター・オブ・エクセレンス(CoE)を設置。
- 現地のイノベーション・エコシステムと緊密に連携してベストプラクティスや知的資本を包括的に結集。
- インフォシスの高性能ソリューションを活用して、日本およびアジアのコネクサス・モバイル・アライアンス加盟企業をはじめとしたプロバイダー向けにカスタム・サービスを設計。

コメント

インフォシス 成長市場事業部ヘッド兼シニア・バイスプレジデントのディシュジト V.G 「今日のデジタル経済で成長し続けるために、常に前を向いている企業の多くは、よりポジティブかつ差別化された顧客体験をもたらしながら、低コストそしてよりシンプルなテクノロジーを可能にする新たな方法を探しています。インフォシスと SMART Enterprise という2つの革新的企業が手を組むことで、常に“つながっている”現代の世界では変化が著しい顧客や市場の動向を企業がより上手く把握することができるようになります。エコシステムとの開かれたコラボレーションにより、お客様はインテリジェント・システムの新たなコンセプトをリスクを抑えながら試すことができます。」

PLDT ALPHA Enterprise 第1バイス・プレジデント/SMART Enterprise 販売マーケティング部門ヘッドのジョビー I ヘルナンデス氏

「両社は、“Internet of Everything”により企業が遠くにある資産や幅広くつながった機器を活用して企業革新を達成できるようになるというビジョンを共有しています。センター・オブ・エクセレンスを設立することでソリューションの開発は加速し、製品提供は合理化され、企業の効果的な経営と競争力の維持を可能にする新たな

ビジネス・モデルが生まれるでしょう。CoE に支えられた SMART とインフォシスの関係により、私たちだけでなく、お客様の経営もより効率的になり、新たな収益源が作られると信じています。」

Smart について

Smart Communications (Smart) はフィリピンの大手ワイヤレス通信サービス・プロバイダーであり、同社 GSM ネットワークの加入者数は 2014 年 3 月末現在で 5540 万を数えます。Smart は、世界初のワイヤレス・サービスである Smart Money や Smart Load、Smart Padala、Netphone などを市場に送り出し、イノベーション企業として高く評価されています。Smart は 3G、HSPA+、LTE のサービスに加えて、世界の海事産業の通信を担う衛星サービス Smart Link を提供しています。また、完全子会社の Smart Broadband 社は無線ブロードバンド・サービス Smart Broadband を提供し、2014 年 3 月末現在 200 万の加入者数を誇ります。

Smart は、フィリピンの大手通信会社である Philippine Long Distance Telephone Company の完全子会社です。詳しくは <http://www.smart.com.ph> にアクセスしてください。

当社について

インフォシスはビジネス・コンサルティング、テクノロジー・ソリューション、アウトソーシング・ソリューションのグローバル・リーダーです。インフォシスは 30 か国以上の国々のお客様が最新のビジネス・トレンドよりも一歩先を行き、競合他社をしのご活躍が出来るように支援を提供します。戦略的インサイトと卓越した実行力を融合させた革新的なソリューションを共同創造することで、お客様が移り変わりの激しい世界に対応し、成長できるようにサポートします。

エンジニアリング・サービス事業部は電気製品、機械製品、通信機器、ソフトウェア製品など幅広い分野にコンサルティング、導入、システム統合サービスを提供しており、M2M および Internet of Everything 分野のサービス提供を含めあらゆる業種のニーズに対応しています。

www.infosys.com を訪れ、年商 82 億 5000 万ドルおよび 16 万人以上の社員をかかえるインフォシス (NYSE: INFY) が今日どのように未来企業を構築しているかお確かめ下さい。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている当社の将来的な成長を予測する記述の一部は、1995 年証券民事訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に基づく「セーフハーバー条項」を充足することを目的とした当社事業の将来的な期待に関する将来の展望であり、多くのリスクや不確定要素が存在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2013 年会計年度 (2014 年 3 月 31 日付) 年次報告書 (Form 20-F) や 2013 年第 3 四半期 (2013 年 10 月 - 12 月期) の四半期報告書 (Form 6-K) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告

書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合があります。さらに、本プレスリリースの日付は本リリースの冒頭に記載されており、本書に記載されている将来の展望はすべて当該日付現在に当社が妥当であると思ふ想定に基づいていることにご留意ください。法律で求められる場合を除き、当社は当社により、または当社を代表して随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。